

# 英語を楽しく

☆声の大きさや声の長さで意味が違う?ってことあり?

① “You are welcome.” ↓声をやや抑え気味に。

② “You’re welcome.” ↑軽やかに明るく、ちょっと声上げては、「どういたしまして。」の意味。

違いは、声の出し方と短縮形かそれとも短縮形でないというだけ。では、2つの言い方を例にして内容を理解しましょう。

A子さんとB子さんは2人で1つの部屋を分け合って暮らしています。ある雨の日、2人で食事を作ろうとしたら、冷蔵庫の中は空っぽ、スーパーまでは遠く、しかも雨が降っている。2人とも買い物に行きたくない様子。しかし、しばらくすると、Aさんが、

「私が食事の材料を買に行ってくる。」

と言って部屋を出た。一時間後、Aさんが帰ってきたとき、Bさんは、すまなく思っていたので、

Thank you..

“Thank you for going shopping in a rain.”

と声をかけた。するとAさんは-----

① “You are welcome.”

② “You’re welcome.”

You are..



You're ...



の2つの文のうちどちらかをいいました。すると、Bさんは、にっこりして急いで料理にかかりました。

さて、Aさんは①②のどちらを言ったのでしょうか。

正解 ②

理由

“You’re welcome.” のように短縮形は、相手に対して「気を使わせるような感じを持ちません。言った人の良い人柄が出るような言いかたです。今回の“You’re welcome.”は「いいよ。気にしない気にしない。」といった感じでしょうか。

それに反して① “You are welcome.” のように短縮形でなく、声を落として言うと

「どういたしまして! (私、こんな雨の日行っただから) 次はBさん、行ってよね!」

と言った感じになってしまいます。

短縮形の言い方は、① I do not like English. ② I don't like English. という文であれば、①は「私は、英語が大嫌い!」②は「私、英語きらい。」と言った感じになります。

※「形が違えば、意味(内容)が違う。」ことを知っておくことは大切です。